

●今後の買い替え予定を早める場合の条件としては、「非常に低燃費の車が発売されたら」「自動車関連税が軽減されたら」をはじめとする経済的な条件の緩和が上位。「非常に低燃費の車が発売されたら」は'03年度調査より増加。

- ・男女とも全年代で「非常に低燃費の車が発売されたら」が増加したが「価格が非常に安い車が発売されたら」は減少。40代、50代で「下取りキャンペーン等で現在の保有車が安く売れたら」が増加。
- ・世帯年収の第2～3分位で「スタイルや室内デザインの魅力的な車が発売されたら」が減少。第1～2分位で'03年度調査で多かった「価格が非常に安い車が発売されたら」は減少。

買い替え時期を早める条件(3つまで回答) ※'05年追加項目

		非常に低燃費の車が	自動車税や自動車関連税が軽減されたら	下取りキャンペーン等で現在の保有車が安く売れたら	価格が非常に安い車が	環境にやさしい車(超低公害車)またはリサイクルしやすい車(車)が発売されたら	安全装備が非常に優れた車が	車の値引率が魅力的※	スタイルや室内デザインが魅力的な車が	エンジン性能が非常に優れた車が	最新のITS(高度道路)システム(高度道路)が搭載された車が	その他	n
現保有車(乗用車新車)		47 51	40 40	26 30	32 26	21 23	19 23	20	25 18	13 14	5 5	9 6	2,692 1,874
性別	男性	37 51	40 39	23 27	32 26	20 24	19 24	19	25 18	15 18	5 6	10 6	1,833 1,163
	女性	38 51	42 43	31 34	34 26	21 22	18 20	21	24 17	11 9	4 4	8 6	859 711
男性	～29才	29 44	47 36	25 29	26 25	10 28	14 8	22	42 33	19 19	7 6	14 3	94 36
	～39才	34 40	38 34	27 29	31 26	15 15	13 15	27	43 35	16 15	4 5	10 11	344 158
	～49才	41 43	38 40	26 33	34 26	17 22	16 16	26	32 27	13 13	6 6	9 5	377 219
	～59才	38 51	42 35	21 28	31 27	22 23	17 26	19	19 19	12 21	6 4	11 4	454 271
	60才以上	37 58	38 43	19 22	32 26	25 28	28 31	13	12 7	16 18	5 6	9 6	564 479
女性	～29才	40 43	50 49	30 38	30 18	14 21	14 14	14	41 21	12 10	2 2	8 10	90 63
	～39才	38 45	46 46	42 38	39 24	12 16	11 15	28	28 24	9 9	2 1	6 7	237 152
	～49才	41 50	39 38	28 36	32 30	23 21	19 15	25	26 18	11 10	5 6	10 5	242 204
	～59才	37 57	40 45	27 38	37 23	29 26	22 24	16	14 15	12 7	4 4	7 6	196 159
	60才以上	34 54	32 39	23 25	23 28	29 28	28 34	16	13 8	12 12	7 2	11 5	94 133
年収5分位	第1分位	36 56	43 45	22 24	38 29	20 22	18 27	15	11 7	11 16	4 3	13 6	275 177
	第2分位	37 52	41 47	24 37	38 29	20 25	20 25	19	23 11	12 16	6 5	9 4	455 313
	第3分位	38 51	45 43	28 29	34 31	18 20	21 20	20	27 14	12 14	5 6	10 7	497 368
	第4分位	41 49	41 37	26 34	31 25	20 23	14 19	23	27 23	17 15	4 3	7 6	564 396
	第5分位	35 48	35 34	27 29	24 19	26 28	23 25	19	29 28	12 13	6 7	8 6	588 411

○:「'03年」と「'07年」を比べて+5%以上増加したもの (%)  
 ○:「'03年」と「'07年」を比べて-5%以上減少したもの

## II クルマ市場をめぐる環境意識の変化

### 1. 環境への意識

#### 1) 環境問題に対する考え方・態度

- 環境への意識は、'05年度調査と比べると全体的に増加傾向がみられ、小型車志向が強まっている。
- ・環境問題に対する考え方・態度について聞いた結果をみると、乗用車新車ユーザーでは「あてはまる」+「まああてはまる」と答えた比率は、'05年度調査と比べ、全体的に増加傾向が見られた。
- ・「クルマは必要なもので、多少高くても、環境にできるだけ負担の少ない車を選ぶ」は'05年度調査より7ポイント、「大排気量・高馬力車などにこだわるよりも、環境にやさしい小さい車や低燃費車の方を選ぶ」は、5ポイント増加し、その他の項目も'05年度調査より3~4ポイント増加している項目が多くみられ、環境への意識についてより身近な問題と考えられている実状が伺える。

\*この数値は下記2つの足し上げ

□まああてはまる

■あてはまる

#### 1. 環境問題に対する考え方・態度 ~「あてはまる」+「まああてはまる」比率

	'97	'99	'01	'03	'05	'07
われわれの消費態度が環境破壊につながるのだから、消費態度や生活水準を多少おさえることもやむを得ないと思う	86 49 37	87 50 37	87 51 36	88 57 31	86 56 30	89* 53 33
すでに環境問題に関心のある人たちが集まって、勉強会やエコロジー活動をけっこう楽しみながらやっている	18 14 4	18 14 4	21 16 5	18 15 3	19 15 4	23 18 5
豊かな生活を楽しむためには、資源の利用やゴミの増加もやむを得ないことだと思う	30 23 7	26 19 7	26 19 7	29 23 6	29 23 6	28 20 8
環境問題の重要性は、頭ではわかっているも自分の生活や行動には実際にはなかなか結びつかないのが実情である	81 50 31	79 52 27	78 53 25	77 57 21	77 57 20	78 56 22
メーカーが環境問題やリサイクル(再利用)に積極的に取り組む姿勢には自分も協力したい (メーカーが企業の社会責任や自然との「共生」を自覚して、環境問題やリサイクル(再利用)に積極的に取り組む姿勢には自分も協力したい)	87 46 41	90 45 45	90 53 37	89 55 34	87 54 33	91 53 36
大排気量・高馬力車などにこだわるよりも、環境にやさしい小さい車や低燃費車のほうを選ぶ (大排気量・高馬力車などにこだわるよりも、小さい車や低燃費車のほうが自分にあっている)	69 36 33	71 34 37	72 39 33	75 43 32	77 43 34	82 40 42
クルマは必要なもので、多少高くても、環境にできるだけ負担の少ない車を選ぶ (クルマなしでは生きていけないのだから、徹底的に比較して多少高くても、環境にできるだけ負担の少ない車を選ぶ)	71 47 24	71 48 23	71 53 18	72 54 17	72 52 20	79 54 25
多少値段が高くなっても、クルマを選ぶ場合は、排ガスがなるべく少なく、クリーンなものを選ぶ	75 47 28	75 49 26	74 53 21	74 54 20	75 54 21	78 53 25
同じクルマを大切に使い、なるべく長く乗り、省資源に協力したい (手入れをよくして大切に使い、同じ車になるべく長く乗り、地球の資源の節約(省資源)に協力したい)	85 42 43	88 42 46	88 49 39	89 49 40	89 50 39	89 45 44
高品質で耐久性のあるものを買ったと、当初はお金があるものの、時間の経過とともに安い買い物になり、いろいろな面で環境を守る	81 49 32	81 49 32	82 56 28	82 56 26	79 55 24	82 53 29

( )内は'97、'99、'01年度調査の質問紙

## 2. 安全への意識

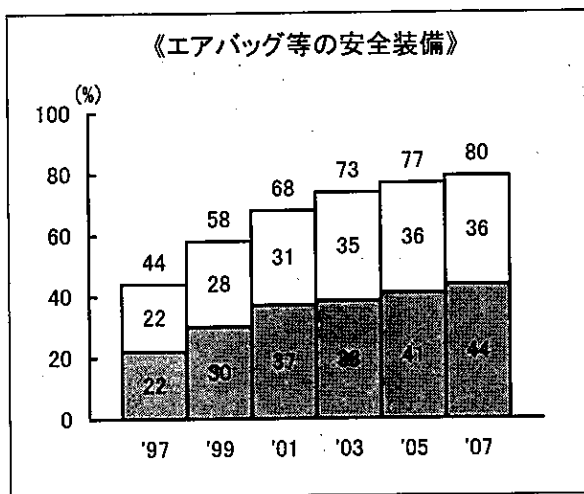
### 1) 安全意識の変化

- 車に対する安全性への志向では、安全装備項目の重視度が引き続き強まっている。
- ・乗用車新車ユーザー（以下同様）が、購入時に車の安全性についてどの程度重視したかをみると、「エアバッグ等の安全装備」で増加傾向がみられた。
- ・一方、「ABS等の安全装置」「車の大きさ・ボディ剛性」「ボディタイプ・形状による安全性」は、ほぼ'05年度調査と同水準。

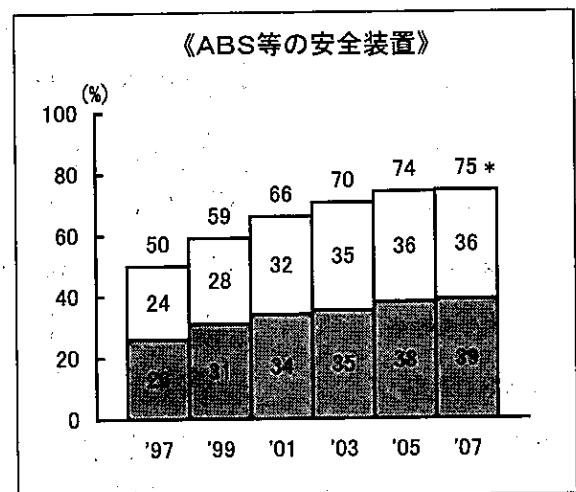
### 5. 購入時の重視度(乗用車新車)

\*この数値は下記2つの足し上げ

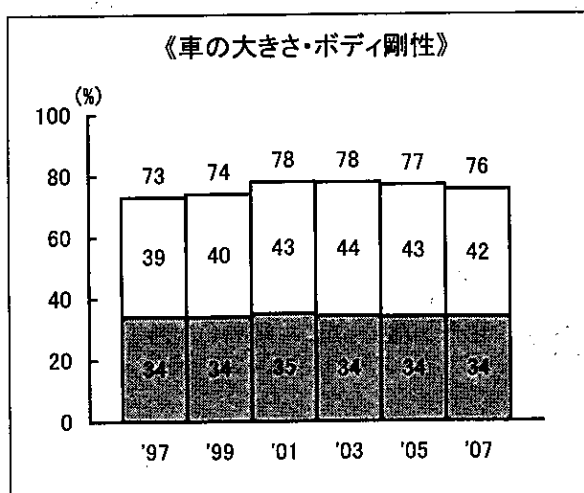
□ やや重視した  
■ 重視した



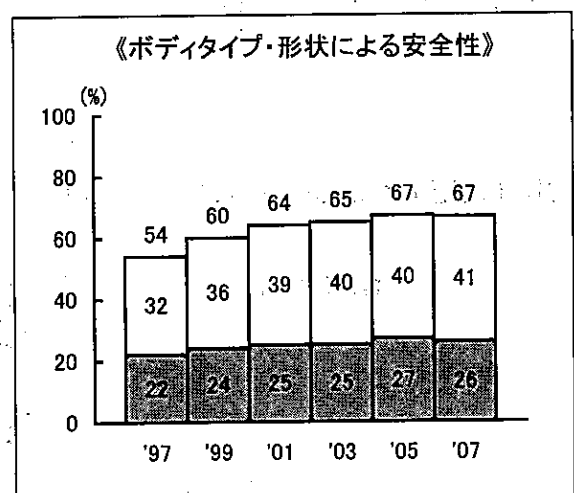
'07年 (n=1,877)



'07年 (n=1,867)



'07年 (n=1,875)



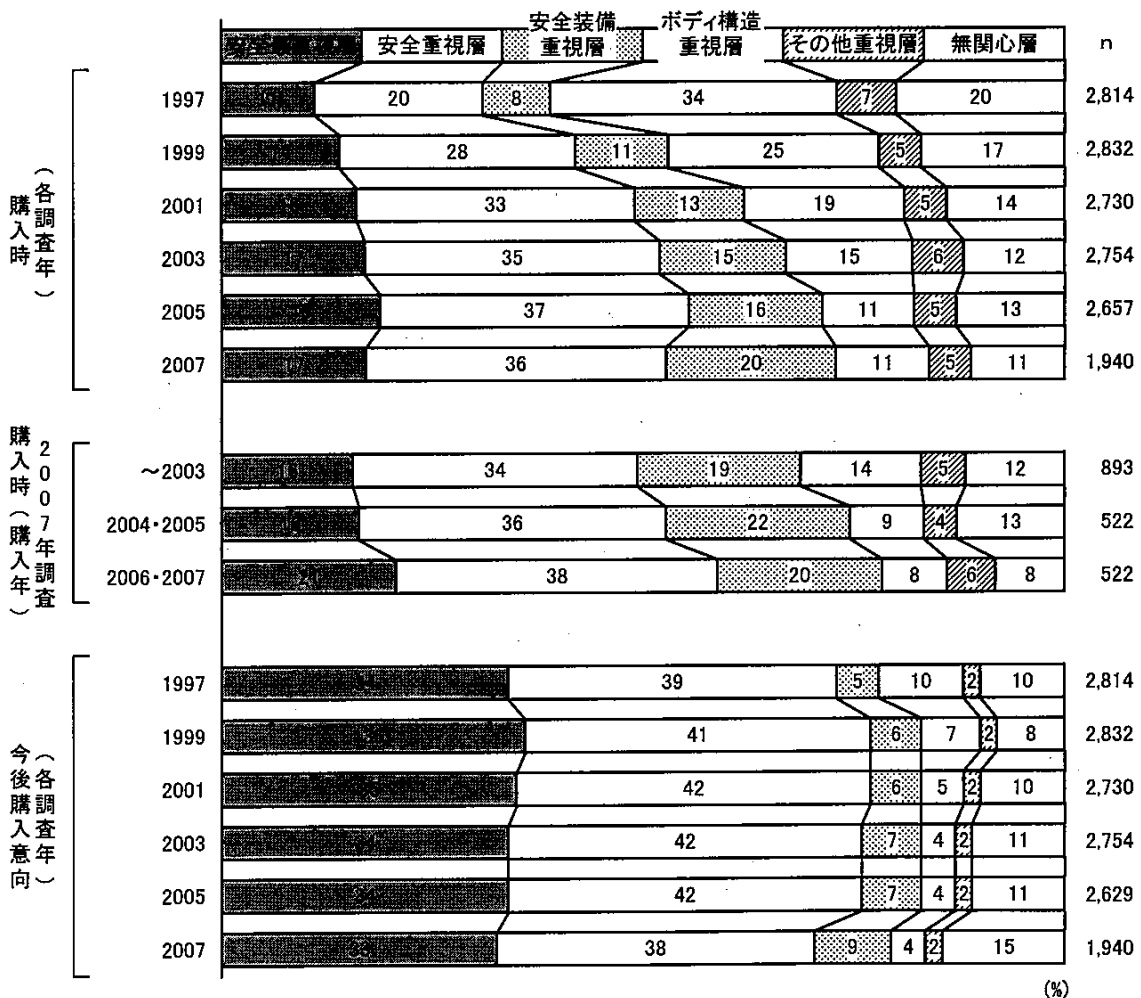
'07年 (n=1,851)

2) 安全志向層構成比の変化

- 安全最重視層と安全重視層の割合は'05年度調査と同水準。購入年度の新しいさとの相関も同様。
- ・車への安全装備の装着とボディ構造をともに重視している「安全最重視層」や2番目に安全志向の強い「安全重視層」は、ほぼ'05年度調査と同水準である。
- ・すべての項目で安全を重視していない「無関心層」は、長期的にみると減少の傾向にある。
- ・直近購入者（'06年度以降購入者）において、「安全最重視層」は21%で、購入年度の新しいユーザーほど安全を重視する傾向がみられる。
- ・今後購入意向時の重視度は、'05年度に比べ、意識の強まりはみられない。

乗用車新車ユーザーを、車の安全性に関する4項目への反応によって、「安全最重視層」「安全重視層」「安全装置重視層」「ボディ構造重視層」「その他重視層」「無関心層」の6グループに分類し、その変化をみたのが下図である。  
(購入時重視度および今後の重視度の結果を用いて、同様の分類を行って、比較した。)

6. 安全志向層構成比の変化(乗用車新車)



<安全志向層構成比の変化>

\* 車を購入したときの重視度や今後車を購入する時の重視度に関する質問で、車の安全性について以下の4項目を尋ね、その回答パターンによりユーザーを分類した。

①エアバッグ等の安全装備②ABS等の安全性能③車の大きさ・ボディ剛性④ボディタイプ・形状による安全性  
(以下では①②を装備関係、③④をボディ構造とくくっている)

- 安全最重視層 : 安全装備、ボディ構造ともに「重視した(する)」と答えた最も安全を重視する層
- 安全重視層 : 安全最重視層に次いで装備、ボディ構造ともに「(やや)重視した(する)」と答えた層
- 安全装置重視層 : 装備関係に重視が偏った層
- ボディ構造重視層 : ボディ構造関係に重視が偏った層
- その他重視層 : 重視傾向が分散している層
- 無関心層 : 全ての項目で安全を「(あまり)重視しなかった(しない)」と答えた安全に無関心の層